

認定調査票の記入のポイント【第7回】

第7回は「第4群 精神・行動障害」についてご案内いたします。問題から正しい選択肢を選んでみましょう。

問題 【4-1 被害的】

書類や健康保険証を「ここに置いたはずなのにない」ということが週に2回ある。その度に家族と一緒に探している。

ない ときどきある ある

問題 【4-3 感情が不安定】

テレビで悲しいニュースを見ると、悲観的になったり、不安を訴えたり、暗い顔をするのが月に1、2回ある。

ない ときどきある ある

問題 【4-4 昼夜逆転】

夜間頻尿のため、夜中に2回程起きることがある。また、昼夜問わず傾眠傾向で、ウトウトしていることが毎日ある。

ない ときどきある ある

問題 【4-5 同じ話をする】

5分おきに「あの人は誰だった」「頼まれた用事をしなければ」など、誰に対しても繰り返し話すため、職員はその都度対応しており、手間となっている。(週3、4回)

ない ときどきある ある

回答【4-1 被害的】ない

〈解説〉被害的とは「実際は盗られていないものを盗られた」「自分だけ〇〇されていない」等と被害的な思い込みがあることである。問題文では、「ここに置いたはずなのにない」と事実を言っているだけであり、被害的な言動ではない。

～【4-1 被害的】特記例（「ある」を選択する場合）～

大事な書類を「ここに置いたはずなのにない。誰かが盗っていった。」ということが週に2回ある。その度に家族が一緒に探している。

回答【4-3 感情が不安定】ない

〈解説〉感情が不安定な状況が不自然なほど持続したり、あるいはすぐわなない場面や状況で突然笑い出す、怒り出す等、**場面や目的からみて不適当な行動のこと**。悲しいニュースで悲観的になることは、場面や目的から見て不適当な行動ではないため、「ない」が該当する。

回答【4-4 昼夜逆転】ない

〈解説〉ここでいう昼夜逆転とは、夜間に何度も目覚め疲労や眠気で日中の活動ができない、もしくは日中行われる行為を夜間行っている状況をいう。夜間眠れず日中に傾眠であっても、日中の活動に支障がない場合は該当しない。

～特記事項記入のポイント～

- ①夜間に日中に行っている行為があるか
- ②昼と夜の生活が逆転していることで日中の活動に支障はあるか（食事ができない等）

回答【4-5 同じ話をする】ある

〈解説〉性格や生活習慣から、単に同じ話をするのではなく、**場面や目的からみて不適当な行動**であるかどうかで判断する。

～間違いが多い特記例～

× 「同じ話を繰り返すことがよくある」と家族から聞き、調査中に何回も関係ない話をしていた。

⇒ しつこく同じ話をしていたのか上記では判断が難しい。頻度は「よくある」では分かりにくいいため、「毎日」や「週〇回」と記載する。

- ★ 特記事項に具体的なエピソードや頻度を記載しましょう。
- ★ 項目に該当しない状況があっても、介護の手間がかかっている状況があれば記載しましょう。その場合、特記事項には「特記のみ」と記載してください。